

<YFA4種リーグ研修会（全員参加型）活動報告書>

◆2023年度4種リーグ研修会のテーマ 『分析』

<目的>

- ・指導者及び保護者を対象に分析の観点について、ディスカッション
- ・『分析』の重要性について、フォーカス ⇒「PLAYERS FIRST」

<日時>

- ・2023年4月16日（日）13:00～14:00

<場所>

- ・山中湖交流プラザきらら（人工芝G）

<対象者>

- ・U-12リーグ（P-Green）7チームの指導者15名 保護者35名計50名

<スタッフ>

- ・司会（山城 SSS：高坂氏）、講義者ファシリテーター：保坂チューター

<スケジュール>

- 1.（15分）レクチャー：①なぜ分析が必要なのか ②リーグ戦の大切さ
- 2.（15分）ディスカッション（グループワーク）
指導者、保護者に分かれ7～8名程度のグループにする
- 3.（15分）発表：全グループ指導者、保護者が発表
- 4.（10分）まとめ：分析できないと何もできない
- 5.（5分）質疑応答

<内容>

1. レクチャー

①なぜ分析が必要なのか？

【指導者】

・指導者の仕事とは何か？

⇒分析をしてからプランニングを行い、トレーニングを行う。そしてゲームへ戻す。つまり、分析がないと実際に課題がわからない。

・分析する中で課題をどの様な観点で考えるか

⇒4種年代では、「個人」に目を向けてもらいたい。

・ゲームの中で選手に何が起きていますか？

⇒テクニクのミス？または判断のミス？いつ？どこで？⇒テクニクのミス？
または判断のミス？いつ？どこで？

・皆さんは試合をどの様に分析していますか？

⇒自チームの個人の分析

【保護保護者】

・皆さんは、プレーしているお子さんをどの様な視点で見えていますか？

⇒保護者の皆さんも自分のお子さんがプレーしている姿を見て、今日は良かった、あそこは悪かったなどの感想を持ったことがあると思います。

⇒指導者はプレーの質について、分析しています。

⇒保護者の皆さんも選手たちに関わる大人として、分析する力が必要となってくるのではないのでしょうか？

②なぜリーグ戦が必要なのか？

【指導者&保護者】

・質の高いリーグ戦とは、どんなリーグ戦でしょうか？

⇒リーグ戦の良いところは、真剣勝負の中にも勝ち負けあり、チャレンジできる環境だと言えるでしょう。

⇒チャレンジしたことの成果があったのか、また、新たな課題は見つかったのか、そういったことを次の試合に生かすことができるのが「リーグ戦」です。

そのためには、『分析』が必要になる。

・皆さんは、リーグ戦をどんな観点で見えていますか？

⇒指導者は？⇒指導者は？

・リーグ戦に何を望みますか？・

⇒指導者は？

⇒保護者は？

※【指導者】

・「PLAYERSPLAYERS FIRSTFIRST」を大前提にリーグ戦にどう向かうかが大切だと思います。

・リーグ戦とトーナメントは違います、チャレンジできる機会であるのに、勝ちに拘りすぎていませんか？

※【指導者・保護者】

・指導者のリーグ戦に向かう姿勢、保護者の子どもへの関わり方が非常に重要だと考えられます。

※【保護者】

・上記の問いかけをしたところ、現状の U-12 リーグ（P グリーン）の位置を理解している人はほとんどいなかった。

2. ディスカッションディスカッション（グループワーク）

【指導者へのテーマ】

①リーグ戦において大切なことは？

- ②質の高い試合とは、どの様な試合だと思いますか？
- ③試合（リーグ戦）では、どの様な部分を見て分析していますか？
- ④普段、選手たちにどの様に分析した結果からの指導をされていますか？

【保護者へのテーマ】

- ①皆さんのお子さんは、普段、所属チームでどの様な指導を受けていますか？
- ②皆さんは、子供さんがサッカーを楽しんでいると分析される瞬間はどんな時でしょうか？
- ③皆さんは、サッカーをする子供さんを分析した結果、できていると感じたことに
対して、どの様にアプローチしていますか？
※最終的に子供たちが自分で判断して、楽しむことが大切という流れになったときに保護者として、子供を自立させるのに大切なことは何か？というディスカッションに繋げていけると良い。

3. 発表（指導者指導者：2グループ、保護者：3グループ）

【指導者へのテーマ】

- ①リーグ戦において大切なことは？
 - ・練習でした成果が試合で出ているか（個々の成長）
 - ・失敗を恐れずにチャレンジすること
 - ・試合においてできたこと or できないことが次の試合にチャレンジできる
- ②質の高い試合とは、どの様な試合だと思いますか？
 - ・トレーニングで個々の質が上がって試合に良いプレーが出ること
 - ・選手自ら判断してのプレーが多くなれば
 - ・選手が自主的にポジティブなプレー
- ③試合（リーグ戦）では、どの様な部分を見て分析していますか？
 - ・ボールを持っている時、持っていない時のプレー（課題は？）
 - ・個々の選手の基本スキルとチャレンジしているか
- ④普段、選手たちにどの様に分析した結果からの指導をされていますか？
 - ・個々の選手に伝えている。また、共通点があれば全体として伝えている
 - ・プレー中に的確かつ考えさせるような声掛けをしている。
 - ・出来ていることと出来ていない確認して、出来ていることは更に伸ばしてレベルアップ図れるように、出来ないことはチャレンジさせている

【保護者へのテーマ】

- ①皆さんのお子さんは、普段、所属チームでどの様な指導を受けていますか？

- ・ どう考えて、どうプレーしたかを大切にチャレンジさせてもらっている
- ・ スタッフ（監督・コーチ）からポジティブなコーチングにより勇気をもらっている
- ・ 選手個々の技術を向上するために、スキル（ドリブル、リフティング等）を中心に

トレーニングしている

- ・ 各学年（高・中・低）に分かれてのトレーニングで色々なコーチからスキルが学べることと中には、チームプレー等指導してもらっているところもある

②皆さんは、子供さんがサッカーを楽しんでいると分析される瞬間はどんな時でしょうか？

- ・ トレーニングをさぼることもなく、一生懸命に取り組んでいる時
- ・ 練習日及び時間以外でも小学校に行ってサッカーを遊びとして楽しんでいるまた親がダメ出ししても楽しんでいる
- ・ 成功したか失敗したかは関係なくそのプレーが認められた時
- ・ 良いプレーが出来た時褒められた時、勝った時

③皆さんは、サッカーをする子供さんを分析した結果、できていると感じたことに対して、どの様にアプローチしていますか？

- ・ 何を目的として試合に望むか話をして、試合後に第三者の場で評価を伝えて自己肯定感を与えてあげる様にする
- ・ 一つ一つのプレーを切り取って細かく良かったところを伝えている
- ・ 子供のやる気アップに繋がるようたくさん褒めてあげている
- ・ 親として、次の課題を少し話したり、友達や他のポジションの視点にも立たせて話をしている。そして、YouTubeで研究したりしている
- ・ 未だにルールもわからない為「今日はどうだった？」と聞くようにしている。聞くこと話すので自覚しているようだ
- ・ 親のダメ出しもあまり聞いていないのでは？

4. まとめ

※指導者も保護者も「選手の個々」を見てください

※何ができていて、何ができていないか。それは何が原因なのかを子供たちと一緒に考える機会を作ってほしい

※指導者は、原理原則の部分？4つの局面・いつ、何がエラーとして起きていて（現象）、その原因何なのかを分析できる様になってください。

⇒これが選手の成長に繋がります

※最後に、皆さんの中にはD級を受講して下さった方もおられると思いますが、是非C級にチャレンジしてください

⇒因みに、C級では①ゲー分析

・プレーの分析→②プランニング→③トレーニング&コーチング→④ゲームの指導者のサーキュレーションを学ぶことができます

※山梨から『世界で活躍する選手』を輩出するために是非指導者養成講習会に参加してください

5. 質疑応答